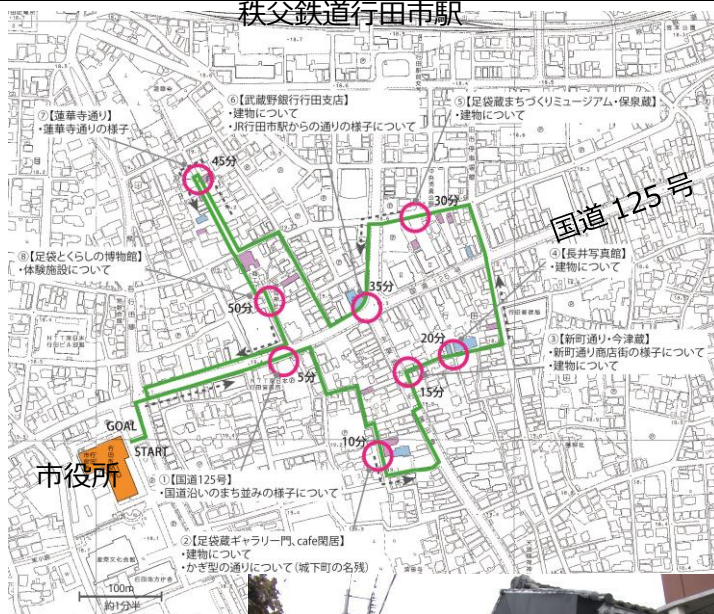


発行：行田市 発行日：2013年11月  
秩父鉄道行田市駅

行田市では、市民の皆さんと一緒に市内の景観やにぎわいについて考えてきたいと思い、「まち並みづくり」と「にぎわいづくり」をテーマに、歴史的建築物が集積し、中心市街地である秩父鉄道行田市駅周辺を対象エリアとして、4回の景観まちづくりワークショップを実施しています。

第1回景観まちづくりワークショップとなる今回は〈10月19日(土)〉、対象エリアのまち歩きを実施しました。まち歩きでは点在する歴史的建築物やまち並み、にぎわいについてみて回り、その後、グループに分かれ対象エリアの魅力と問題点を話し合い、意識の共有と意見交換をしました。



## 〈ワークショップ参加者から頂いた対象エリアの魅力と問題点の概要〉

### ◆まち並みについて

- 様々な時代の建物が混在するまち並みである。
- 魅力的な路地が沢山ある。
- 蓮華寺通りの舗装の見た目が良く、歩きやすい。
- 国道125号の童・銅人形が景観的に良い。
- 空き家や空地が目立ち、古い建物が壊れている所があり、景観的に悪印象である。
- 商店街のアーケードによって、建物の外観が見えない。

### ◆にぎわい・観光について

- 忍城址や歴史的建築物など観光資源は沢山ある。
- 点在する観光資源をつなげることが大事である。
- 観光資源への案内板や観光ルートの整備を図るべきである。
- 休憩場所、飲食店、土産物店、宿泊施設、駐車場が少ない。
- 商店街がシャッター街となっており、寂しい印象である。

### ◆歴史的建築物について

- 歴史あるまち並みや建物が残っており、重要な地域資源である。
- 観光に活かせるよう保存・活用や情報発信が必要である。
- 歴史的建築物の案内表示がなく、建物があつ場所がわからない。
- 看板やアーケードによって歴史的建築物の外観が隠れており、もったいない。
- 忍城址などの資源同士のつながりが無い。

